HABIB HADDAD

- **President and Managing Director of E14Fund**

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Digital
- Digital Disruption
- Entrepreneurship
- Future
- Innovation
- Startups
- Technology

Habib Haddadは、シリアル起業家、初期段階の投資家、そして「スタートアップ活動家」です。彼は現在MITからのスピンオフに投資するE14Fundの社長兼最高経営責任者です。

Habibの起業家の旅は、MIT Computer Science and Artificial Intelligence LaboratoryCSAILからのベンチャー支援スピンオフとして、画像ベースのモデリングソフトウェア会社Mok3現Everyscapeを設立した2004年に始まりました。彼は2005年まで創業エンジニアを務めました。

2006年に彼はレバノンでの2006年の戦争中の救援活動を支援するためにRelief Lebanonを設立しました。草の根の取り組みは、2009年2月にUNDPが行った101 Stories to Tellイニシアチブの特徴でした。

Habibは2007年にYamliを設立しました。これはアラビア語の主要な翻字およびスマート検索エンジンです Yamliは、オンラインでアラビア語の権限を与え、活性化させたことで称賛されています。同社はYahoo!に買収された。 2012年に

2009年にHabibは他の2人の中東技術起業家と協力してYallaStartupを設立しました。初期段階の起業家精神と新興企業の創出を促進するNGOは、MENA起業家のための最初の支援組織の1つでした。

2012年から2016年までMENA地域全体で起業家精神のエコシステムを加速させることを目的としたプログラムとネットワークのプラットフォームであるWamdaの創設者であるCEOでした。彼はまた、タクシーを呼ぶアプリCareemLittleBitsJamalonなどの新興企業への投資で成長する資本VCファンドであるWamda Capitalのベンチャーパートナーを務めました。

彼は現在E14Fundの社長兼マネージングディレクターを務めています。これは初期段階のスピンオフを促進することによってMITメディアラボから主要な革新を商品化するために生まれた基金です MITのスタートアップエコシステムの中心に位置するこのファンドは、ラボの反規律精神を具現化し、テクノロジー、デザイン、生物学、エンジニアリングなどの交差点で企業を支援します。現在の投資には、ビットコイン、ウェアラブルコンピューティング、具体的なインターフェース、スマートシティ、ゲノミクスなどがあります。

E14Fundでの彼の役割に加えてHabibはMITメディアラボでリサーチアフィリエイトのポジションも持ち、そこでコミュニティ構築の背後にある科学に焦点を当てています。米国のエンジェル投資家でもあり、スタートアップ、非営利団体、学術機関の役員も務めています Circa WillCall Rally.org ProBueno.comなどのスタートアップに投資しています。

Habibは、Arab Thought FoundationによるCreativity AwardとMIT Technology ReviewによるTop Innovator Under 35を含む数々の賞を受賞しました。 2009年に、世界経済フォーラムはハビブを若いグローバルリーダーとして認め、イノベーション評議会の副議長も務めました。 2015年に彼は40歳以下の最も強力な100人のアラブ人の一人に選ばれました。彼は起業家精神、革新、破壊的な技術、そ

して初期段階**の**開発**について**世界的**に**話**しています**。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988